

科目名	アフレコⅠ							年度	2025
英語科目名	PostloopingⅠ							学期	前期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	選	時間数	105	単位数	3	種別※	実技
担当教員				教員の実務経験			実務経験の職種		
【科目の目的】									
発声・滑舌の訓練の継続、また作品の理解と自分の役どころを理解し豊かな表現ができること。 実際に使用する機材の使い方とマイクワーク、テキスト（台本）で使われる用語、台本の読み方（芝居の組み立て方）、マイク前での発声、距離感を覚える。									
【科目の概要】									
アフレコに興味を持たせる。スタジオでのマナーを身に付ける。 アフレコ実習を中心に演技と録音スタジオでの技術を学ぶ。									
【到達目標】									
一年次より培っている発声、滑舌を更に発展させる。 声優が携わるあらゆるジャンル（アニメ、外画等）の台本、映像への理解を深める。 絵に合わせるのではなく、キャラクターの心を表現できるようにする。 朗読劇制作において、マイクを使った表現を観客の前で行うことで現場の緊張感と責任感を身につける。									
【授業の注意点】									
学生間、学生とのコミュニケーションを重視する。芝居、表現を習得すると同時に、他学生の演技を評価、取り入れる目、耳を養うため、私語や授業態度には厳しく対応する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	滑舌が明瞭で、意識して聞こうとしていない相手にも、聞き取りづらい言葉が一つも無い	滑舌は良いが、意識して聞こうとしていない相手には、一部聞き取りづらい言葉がある。	滑舌が良く、聞き手が集中していれば、聞き取りづらい言葉が一つもない。	聞き手が集中して聞いていても、時々聞き取れない言葉がある。	聞き手が集中して聞いていても、不明瞭な言葉が多い。				
到達目標 B	自分の声が一番良く入る距離を把握し、発声の音圧が不自然に変化する事が無く、ノイズを立てないように最善の注意を払う事ができる。	自分の声が一番良く入る距離を把握し、ノイズを立てないように最善の注意を払う事ができる。	自分の声が一番良く入る距離を把握し、さまざまなノイズに気を付ける事ができる。	さまざまなノイズに気を付ける事ができる。	ノイズに気を付ける事ができない。				
到達目標 C	マイク前が混雑した時は率先して、マイクの入る場所を提案できる。	共演者と相談しなくても、自分の入るマイクがわかり、スムーズに収録する事ができる。	共演者と相談し合えば、どのマイクに入るかがわかる。	時々どのマイクに入ったら良いかわからなくなるが、自分が演じない時は、マイクから外れる事ができる。	どのマイクに入ったら良いかわからず、自分が演じない時もマイク前にいる。				
到達目標 D	演出の指示により表現を自在に変える事ができる。	自分で考え、キャラクターを維持しながら、情景が浮かぶ表現ができる。	アドバイスをもらいながら、キャラクターを維持し、情景が浮かぶ表現ができる。	キャラクターを維持、または情景が浮かぶ表現のどちらかができない。	キャラクターを維持、または情景が浮かぶ表現のどちらもできない。				
到達目標 E	スタジオに余裕を持って入室し、全ての方に挨拶をする事ができ、私語はしない。他の方が収録中も、学ぶ姿勢で居ることができる。	スタジオに余裕を持って入室し、スタジオ入室時に全ての方に挨拶をする事ができ、私語はしない。	スタジオ入室時に全ての方に挨拶をする事ができ、私語はしない。	集合時間に到着した為、挨拶ができなかった人がいる。私語は謹んでいる。	遅刻をした。もしくは私語をする。				

【教科書】							
レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。							
【参考資料】							
【成績の評価方法・評価基準】							
小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		アフレコ I				年度	2025
英語表記		Postlooping I				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	アフレコとは	アフレコに興味を持つ①		アフレコ	アフレコとは何かを学ぶ		
				発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする		
2	アフレコとは	アフレコに興味を持つ①		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする		
				朗読	相手に向かって語ることを意識する		
3	アフレコとは	アフレコに興味を持つ①		挨拶・マナー	スタジオの挨拶・マナーについて学ぶ		
				機材説明	機材の使い方を覚える		
4	アフレコとは	アフレコに興味を持つ①		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする		
				スタジオ体験	画面を見ながら演技をする		
5	アフレコとは	アフレコに興味を持つ①		スタジオ収録	実際に録音してみる		
				フィードバック	録音した音声を聞く		
6	芝居の流れ	芝居の流れを理解する		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする		
				専門用語	台本で使われる用語を覚える		
7	芝居の流れ	芝居の流れを理解する		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする		
				専門用語	アフレコで使われる用語を覚える		
8	芝居の流れ	芝居の流れを理解する		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする		
				気持ちの流れ	演技のテンションを考える		
9	芝居の流れ	芝居の流れを理解する		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする		
				演技プラン	自分の演技プランとその結果を考える		
10	芝居の流れ	芝居の流れを理解する		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする		
				台本読解	台本を読んで芝居の流れを理解する		
11	アフレコ実習	マイクの前でセリフが言える		発声・滑舌	発声・滑舌の練習をする		
				アフレコ実習	マイクの前で集中して演技ができる		

12	アフレコ実習	マイクの前でセリフが言える		アフレコ実習	マイクの前で集中して演技ができる		
				グループワーク	お互いの演技を見て学習する		
13	アフレコ実習	マイクの前でセリフが言える		アフレコ実習	マイクの前で集中して演技ができる		
				グループワーク	共演者とのマイクワークを考える		
14	アフレコ実習	マイクの前でセリフが言える		アフレコ実習	マイクの前で集中して演技ができる		
				グループワーク	発声・アクセントなどチェックしあう		
15	アフレコ実習	マイクの前でセリフが言える		アフレコ実習	マイクの前で集中して演技ができる		
				フィードバック	録音したセリフを聞き、客観的に分析する		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							